

大谷學報

第六十四卷 第三号

昭和五十九年十二月二十日発行

竹取翁伝承の本原	堅田 修	(1)
親鸞における「名」の一相 ——「ナル」と「ナヅケル」——	大門 照忍	(15)
元禄・宝永期の平太郎伝淨瑠璃	沙加戸 弘	(27)
——『都三十三間堂棟由来』と『和合之名号』——		
大谷学会 春季公開講演要旨		
東西の哲学	京都大学 名誉教授	
佛教文化学試論	大谷大学 教授	
書評	野田 又夫	(39)
大井令雄著 『日本の「新教育」思想』	山田 昇	(46)
新刊紹介	(51)	
彙報	(54)	
『プラマーナ・シーマーンサー』		
解説研究	長崎 法潤	(1)
Pm. 1. 1. 106~1. 1. 126.		

大 谷 大 学
大 谷 学 会

大谷学報 第六十四卷 第二号

大谷学会編

ツォンカパにおける「諸説總論」……小川 一乘

社会的交換理論…………高橋 憲昭

——その「側面について」——

節会相撲考……………山田 知子

大谷大学研究年報
大谷学報
総目録

佛教研究（第一卷第一号～第八卷第四号）

大谷学報（第九卷第一号～第六十卷第四号）

大谷大学研究年報（第一集～第三十三集）

に掲載された論文、書評、講演要旨などを収録

昭和五十八年度 特別研修員研究発表要旨

新刊紹介

（論文目録）真宗学／仏教学／哲学／社会学／教育学／
心理学／史学／文学／法学・政治学／図書館学／自然科
学／保健体育学。

春季公開講演要旨／秋季公開講演・研究発表要旨／書評
／新刊紹介／追憶・年譜など。巻末に執筆者索引を付す。

(A5版・一一六頁・一九八二年七月刊・八〇〇円)
The Life of Hakuin Ekaku...Norman Waddell
—The Path to Enlightenment—

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

- The Source of the *Old Bamboo-Cutter* LegendOsamu Katata (1)
Two Aspects of Shinran's Use of '名'Shōnin Daimon (15)
—‘nanoru’ (give one's name)
and ‘nazukeru’ (to name)—
The *Jōruri* on the *Heitarō* Legend during the
Genroku-Hōei PeriodHiromu Sakado (27)
—in terms of the *miyako sanjūsangendō yurai*
and the *wagō no myōgō*—
The Japanese Translation of the Pramāṇamīmāṃsā
with Annotation Pm. 1. 1. 106~1. 1. 126Hōjun Nagasaki (1)

Resumés of Papers presented at the Public Lecture in the spring of 1984 :

- Philosophy in the East and the WestMatao Noda (39)
A View on the Study of Buddhist CultureOsamu Katata (43)

BookReview :

- Yoshio Ōhi: A Japanese New Education
PhilosophyNoboru Yamada (46)
—with special reference to Entarō Noguchi—

New Publications :

Miscellaneous :

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

- 第六条 会長には大谷大学学長が当り、会務を統理する。
- 第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。
2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。
3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。
- 第八条 1、監事は二名とし、教授会において互選する。任期は二年とする。
2、監事は本会の会計を監査する。
- 第九条 会員は本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。
- 第四条 1、本会は大谷大学大学院・文部省並びに短期大学部のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。
2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。
- 第五条 1、会員長
2、委員
3、監事
- 第一条 大谷大学に大谷学会を置く。
- 第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・社会学・史学・文学、その他の学術研究と発表をおこなうことを目的とする。
- 第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。
- 一、季刊「大谷学報」の発行
- 二、「大谷大学研究年報」の発行
- 三、研究会及び公開講演会の開催
- 四、その他必要なる事業
- 第一条 本会は大谷大学大学院・文部省並びに短期大学部のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。
- 第二条 本会の事務は、教務課の所管とする。
- 第三条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。
- 附則 1、この規程は昭和五十六年四月一日から施行する。
2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

昭和五十九年十二月三十日発行	大谷学会
編集兼 発行者 福島光哉	大谷学 会
印刷者 西村明	京都市北区小山上総町
郵便番号 〇六二三一三二三二 電話 (〇七五) 四三三一三二三二 大谷大学内	発行所 大谷学会

大谷大學研究所紀要創刊号

櫻

部

藤

島

建

樹

国訳『大乗阿毘達磨雜集論』卷一刪補

桂

華

淳

祥

至

建

征服王朝期における信仰形態
——金、元交替期の河東の場合——

見

田

橋

富

仁

道

金代の寺觀名額発売について
——山西の石刻資料を手がかりに——

岩

友

市

禿

安

清

外国语教育（学習）の思想（中間報告）

信

憲

弘

孝

哉

至

近代仏教学の動向

——日本と西洋の比較——

昭和五十七年度研究所報告

Chih-T's Interpretation of *jñeyavāvana* Paul L. SWANSON

An Application of the Three-Fold Truth Concept

Abhidharmasamuccaya ほおけぬ十一支縁起の解釈

歐米における淨土教研究の紹介

——前掲 英文淨土教関係著作・論文目録——

Bibliography of English-Language Works on Pure Land Buddhism: 1960 to the Present

大谷大学大学院 研究紀要 第一号

「一乘海釈」試考

井上円

『教行信証』における方便真門の位置

加来雄之

往還二回向成就の真実証

一樂眞

願によって明証される自口

畠山正信

華嚴同別二教判の成立について

織田顯祐

摩訶止観・病患境の研究

山野俊郎

サー・ンキヤ思想の歴史的展開の一視点

浅野玄誠

—識別智(vivekakkhyāti)を介する考察—

物自身と自由

東道成

古代仏教における時間論

藤原正己

『沙石集』の和歌説話—仏教史的觀点より—

笛田教彰

蓮如係累考

深田虎雄

ベトナムにおける中元節行事の沿革について

大西和彦